

住民意向調査速報版（双葉町）の公表について

原発事故による避難者等に対する住民意向調査について、双葉町の住民を対象とした調査結果を取りまとめました。

1. 調査概要

双葉町

調査主体	復興庁、福島県、双葉町
調査対象	世帯の代表者（3,057世帯）
実施期間	令和元年9月25日～10月8日
回答者数	1,399世帯（回収率45.8%）

2. 調査結果のポイント

別紙のとおり

本件連絡先
（原子力災害復興班）担当：阿部、高橋
電話：03-6328-0250（直通）

双葉町調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・ 復興庁、福島県、双葉町の共同調査は8回目。

(1) 帰還の意向

戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）	10.5%（10.8%）
まだ判断がつかない	24.4%（25.6%）
戻らないと決めている	63.8%（61.5%）

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(H30.10)結果

(2) 帰還を判断するために必要なこと（上位抜粋）

医療・介護福祉施設の再開や新設	40.5%
住宅の修繕や建て替え、住宅確保への支援	35.5%
商業施設の再開や新設	27.9%
除染対策（被ばく低減対策）	16.7%
どの程度の住民が戻るかの状況	12.0%

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

(3) 双葉町を訪れたいくなる取り組み・行事・イベント（上位抜粋）

お祭り・イベントなどの地域行事	41.1%
運動スポーツなどの健康づくり活動	11.2%
農地や環境の保全活動	10.1%
世代間交流・ボランティア活動	9.7%
有志によるサークル活動	7.2%

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答

(4) 双葉町でイベントが開催された場合の参加意向

今年度末には、JR常磐線が全面開通し、JR双葉駅が営業再開することに加え、令和2年7月頃には、中野地区において、産業交流センター・アーカイブ拠点施設、復興祈念公園の一部などのオープンが予定されており、それらに合わせたイベントの開催も検討している。

参加してみたい	28.6%
参加したくない	12.8%
わからない	49.3%